

# もも栽培情報第4号

令和2年5月27日  
富山県高岡農林振興センター

## ■ 1 概 況

せん孔細菌病り病葉が一部で出始めています。発生は少ない状況ですが、今後降水量が多くなると被害拡大が心配されます。丁寧な薬剤防除を行なって下さい。  
また、仕上げ摘果作業や袋かけ作業は遅れないよう計画的に行いましょう。

## ■ 2 病虫害防除

せん孔細菌病の春型枝病斑は見つけ次第切除し、園外に持ち出して適切に処分して下さい。また、降雨前に防除するとともに、散布間隔は10日以上空かないように行ってください。

時期	対象病虫害	散布薬剤名	希釈倍数	100L当 必要薬剤 (g,cc)	10a当 散布量	防除 実施日
6/3 ~5	灰星病、黒星病 せん孔細菌病	ベルコート水和剤 マイコシールド	2,000倍 1,500倍	50g 66g	350L	月 日
6/13 ~15	黒星病、灰星病 シンクイムシ類、ハマキムシ類、 ウメシロカイガラムシ	ダコニール 1000 ダーズバンDF	1,000倍 3,000倍	100cc 33g	400L	月 日
6/23 ~25	灰星病、ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類、モモハモグリガ	ベルコート水和剤 デミリン水和剤	2,000倍 3,000倍	50g 33g	400L	月 日

※カイガラムシ類、シンクイムシ類の発生が目立つ場合は6/3~5の防除に「スプラサイド水和剤」(1,500倍、収穫21日前まで、年2回以内)を加用散布して下さい。

※せん孔細菌病の発生が目立つ場合は、袋掛け前であれば「バリダシン液剤5」(500倍、収穫7日前まで、年4回以内)、袋掛け後であれば「ICボルドー412」(50倍)を散布して下さい。

※ハダニ類が発生した場合は、ダニサラバフロアブル(2,000倍、収穫前日まで、年2回以内)を散布して下さい。なお、殺ダニ剤散布前には園内の草刈りを実施して下さい。

※散布薬剤は、かけムラがないようにていねいに十分量を散布して下さい。

※園外への飛散や他作物への飛散が無いように、注意して散布して下さい。

※農薬の使用前には必ずラベルを確認して下さい。

## ■ 3 かん水

極端な乾燥後の多雨は、生理落果の多発や、急激な果実肥大による核割れを引き起こします。乾燥・少雨が5日以上続く場合は、降水量換算で20mm程度のかん水を実施して下さい。

## ■ 4 袋かけ

灰星病、せん孔細菌病の果実感染防止のため、仕上げ摘果終了直後から袋かけを開始し、6月中下旬頃を目途に完了させて下さい。

お問い合わせ：富山県高岡農林振興センター担い手支援課園芸振興班  
担当 濱谷 TEL26-8476